

スタッフ募集中

募集職種

看護師 介護職員

※資格不問

理学療法士 作業療法士 言語聴覚士

勤務地

西知多リハビリテーション病院(知多市)
知多リハビリテーション病院(半田市)

採用面接 随時受付中!! 見学も対応します

詳しくは下記お問い合わせ先までご連絡ください。

TEL(0562)54-3500求人採用
担当まで

充実した子育て支援体制
女性が長く働き
続けやすい職場です。

◎法人内保育完備
(夜間保育にも対応します。)



◎大学卒業までの家族手当延長制度
◎育休復帰後の短時間勤務制度

西知多リハビリテーション病院
西知多産業道路 長浦I.Cから車で約4分
知多リハビリテーション病院
知多半島道路 阿久比I.Cから車で約13分

◎法人内保育完備
(夜間保育にも対応します。)



◎法人内保育完備
(夜間保育にも対応します。)

◎大学卒業までの家族手当延長制度
◎育休復帰後の短時間勤務制度



機能障害により引き起こされた生活障害に対して、早期から充実したリハビリテーションを提供しています。患者さまの自立性を高め、生活再建を果たせるよう共に努力し、ご支援いたします。



知多リハビリテーション病院
TEL (0569) 20-2210
FAX (0569) 20-2212
ホームページアドレス
<http://medi-life.jp/>

随時院内見学お受けします

創刊号(年4回発行)

知多リハビリテーション病院情報誌

知多タリハタより

回復期リハビリテーション病棟の質の向上について

当院は開設12年目となり、半田市ひいては知多半島における回復期リハビリテーション病院として急性期病院との連携を行い在宅生活への円滑な移行をすすめてきました。

地域の信頼を得るには、さらに回復期リハビリテーション病院の質の向上を求める必要があると考えております。これまで、回復期リハ病棟の診療報酬上での質の指標は、在宅復帰率や看護必要度の改善等のアウトカム(結果・成果)とリハビリテーション提供量や専従医の配置や看護ケア体制等のストラクチャー(構造・組織・体制)が主で、肝心のプロセス(過程・経過)は評価対象となっていました。プロセス指標を公正に測るのはとても難しいのですが、「公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価」であればそれが可能であり診療報酬上の質の評価として利用すべきとの意見が高まっております。

病院機能評価・付加機能評価(リハ機能・回復期)については、三つの領域に分類され、評価されます。第1領域:良質な回復期リハを提供する為の組織運営では、より充実した回復期リハを実施する為の人員配置、質の改善への取り組み、地域医療機関との連携を評価されます。第2領域:回復期リハに関わる職員の専門性では、職員の専門性の発揮を「役割・機能」「指導・支援」「チーム医療への関与」「質の向上に向けた活動」の切り口から評価されます。第3領域:チーム医療による回復期リハ・ケアの実践では、実際のカンファレンスを通じたケアプロセスの評価が行われ初期評価と計画の立案、各職種によるリハ実施、多職種による課題の共有と新たな課題への対応、在宅復帰に向けた取り組みを評価されます。

評価調査者(サーベイサー)は、回復期リハ病棟の現場の表も裏も知り尽くした専門家であり病院の本質を見抜かれる事です。当院も受審に向け準備をすすめ、回復期リハビリテーション病院としての質の向上に努力し地域の信頼をさらに高めていきたいと考えております。2015年度回復期リハ病床は7万5000床を突破し、一部地域では病床過剰による競争が激化してきています。また、厚生労働省は2016年度診療報酬改定で「量的充足」から「質的充足」を目指す方向に政策を転換し、ADL改善度の低い医療機関に対し、6単位を超えるリハビリ部分の報酬が入院料に包括される措置が取られることになっています。

また、要介護被保険者の介護保険サービス移行を促すため「目標設定等支援・管理料」が新設され、これを算定しないと疾患別リハビリ料が1割減算される規定も開始されることとなっています。このように、回復期リハ病棟の質の向上は重要であり、病院機能評価を受けることは大切となり、当院も努力していきたいと考えております。

リハビリテーション部 早 便り

皆さんこんにちは、今回、知多リハビリテーション病院リハビリテーション部の紹介をさせて頂きます。リハビリテーション部には、リハビリテーション専門職として、PT:理学療法士・OT:作業療法士・ST:言語聴覚士が在籍しており、総勢50名を超える大所帯な部署です。リハビリテーション業務としては、入院リハビリテーション(回復期リハビリ病棟)、外来リハビリテーション、訪問リハビリテーション、短時間通所リハビリテーション(介護保険)を小児から成人・高齢者までの幅広い患者さま・利用者さまに提供しております。

リハビリテーション専門職とは…

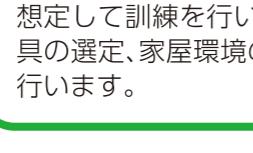
理学療法士(PT)

早期から離床を促し、運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能の改善を図りながら移乗、移動動作の獲得を目指します。



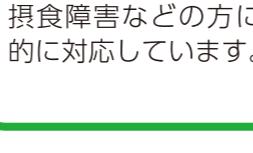
作業療法士(OT)

身体機能面、高次脳機能面、心理面、日常生活活動面、職業復帰への働きかけをします。日常生活場面では、家族とともにある新たな生活を想定して訓練を行い、福祉用具の選定、家屋環境の整備も行います。



言語聴覚士(ST)

言語・聴覚・発声・認知などの各機能の訓練を行い、コミュニケーションの獲得を目指します。また食べ物が「かみにくい」「のみにくい」など、摂食障害などの方にも専門的に対応しています。



特色

回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション専門職の関わり

医師をリーダーとした他職種(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・ケアワーカー・医療相談員・薬剤師・栄養士など)によりチーム(他職種連携)を形成し、生活再建に向けて全力でサポートしています。

- より集中的なリハビリテーションをするために365日毎日リハビリテーション
- 生活場面を考えて訓練室だけではなく、病棟リハビリテーション
- 朝から夜まで生活に合わせてリハビリテーション



病棟リハビリテーションの取り組み



- 患者さまの最大能力を、実際のADL場面で実践しています。
- 病棟で積極的にADL訓練を行い、日常の行為としてその定着を図っています。
- 発症前や退院後を考慮した生活パターンを獲得できるように介入しています。



今後も、当院リハビリテーション部がリハビリテーションの分野で地域になくてはならない存在となるよう一層努力してまいります。

病棟行事のご紹介

回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの患者様に対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施しています。また、患者様の入院生活に少しでも楽しみや癒しを提供できるよう、病棟行事にも力を入れて取り組んでおります。今回、平成28年10月と11月に開催した「知多リハ運動会」と「寿司バイキング」について紹介させて頂きます。

10月開催 知多リハ運動会

毎年恒例の知多リハ運動会を開催しました。梶原院長による挨拶、そして患者様による元気いっぱいの選手宣誓で運動会がスタートしました。運動前の準備体操では、毎年新入職員が体操内容を考え、実施してくれています。紅組、白組のチームに分かれた患者様が、棒サッカーや玉入れ等の競技にて日頃のリハビリテーション成果を思う存分発揮してくれました。患者様同士、力を合わせてチームの勝利を目指し、白熱した運動会で盛り上がりでした！



11月開催 寿司バイキング

行事食にて寿司バイキングを開催しました。握り寿司や巻き寿司などたくさんのお寿司が並び、まるで、お寿司屋さんに来ているような気分で召し上がって頂きました。患者様からは「たのしかった！」「おいしかった！」と多くの声を頂きました。お腹が空いては、リハビリもできません！栄養摂取などの観点からも食事はとても重要と考え、今後もさまざまな工夫をして食事を楽しんで頂けるよう取り組んでいきたいと思います。



今後も、季節に合わせた病棟行事を行っていき、日々のリハビリの成果や意欲の向上・気分転換などにつながるよう病棟行事に取り組んでいきたいと思います。